



年間1ミリシーベルトの科学的根拠は？

「年間一ミリシーベルト」という除染目標に科学的根拠はない」と丸川環境相は発言。根拠がないと思ったら、自分が大臣をやっている環境省の幹部や学者を呼んで質せば良い。

年間一ミリシーベルト
国際的学術組織「国際放射線防護委員会」(ICRP)は、人工放射線による一般人の年間追加被ばく限度を一ミリシーベルトと勧告。民主党政権がこれに基づいて除染の長期目標を「年間一ミリシーベルト以下」とした。

年間百ミリシーベルト
「疫学的には年間百ミリシーベルト以下の被ばくでは発がんリスクに統計的な有意差は認められない」と日本原子力文化財団のホームページにはある。分りにくいのが、これは「年間百ミリシーベルト以上では癌が明らかに増える」ということ。計る場所、計器の誤差も考えて、十分余裕を持たせて、明らかに癌が増える年間百ミリシーベルトの百分の一を採用したのだ。

「何故五十分の一でなくて百分の一なのか？」それは食品等の安全基準等を決める時に長く使われて来たから。こんな事も知らないで大臣とは・・・。

お友達優先の安倍政権

この丸川環境相、育休の一方で浮気をしていた宮崎議員、URへの口利き疑惑の甘利経済再生相、電波を止めると脅した高市総務相。お友達優先？

みなさんはどう思われますか？

大沢温泉 菊水館

岩手県花巻市 二〇一五年九月



二〇一一年三月十一日の東日本大震災からもう五年になる。

昨年九月、日本美術会の写生会で岩手県を訪れた。津波に襲われた三陸海岸で泊まったホテルは四階まで津浪に浸かったとか。

帰途、花巻から足をのばし、大沢温泉に寄った。

三・一一の復興の為に新たな税が設けられた。庶民は復興特別所得税を二五年払う。復興特別法人税は減税と抱き合わせだったが既に廃止。減税はそのまま。現在、負担は庶民だけ。

その復興予算が全く復興とは関係ない所に使われたりしているのが腹立たしい。

住宅地が造成されていたが、手つかずの所も。復興予算が適正に使われ、復興が進んで、こういうところで皆が湯治できたらなあ。